

セクハラやじ・執行部(市職員)に質問を書いてもらおう議員

# 議会への信頼が問われています

## 事実把握へ 市議会全員協議会を開催

今年8月吉日に発行(新聞折込は8月1日)された加藤啓子議員の『かわら版』。セクハラやじを受けたかと思われる内容や、「自分で質問を書かずに執行部に書いてもらい、漢字を読み間違えたりしていることは議員になって初めて知った」「議会の真実」である」と記載しました。

その『かわら版』を根拠に、15日、産経新聞が報道。19日、議長召集の緊急の市議会全員協議会が開催されました。小田桐たかし市議にも「やじがあつたの？」という問い合わせがありました。

18日に開催された議会運営委員会では、小田桐市議が「議運は、6月議会途中から今日まで5回開催されたが、(セクハラやじは)一切話題になく、わが党4人も聞いていない。セクハラやじはあつたのか、各委員に確認したい。また、質問を執行部に書いてもらっているという「議会の真実」は、会派で事実確認すべきでは？」と指摘。「明日の全員協議会で、真相を把握すべき」との発言があり、19日の市議会全員協議会へ持ち越されることになりました。

.....

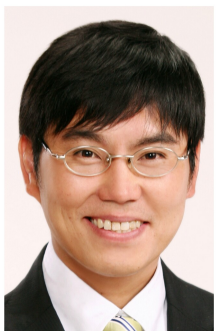
全員協議会では、加藤議員が

経過や真意を表明。複数の議員とのやり取りが行われ、ご本人から「本会議場でも委員会室でもセクハラやじは聞いてない」など釈明する場面もありました。

.....

党市議団長のいぬい議員は「質問を書いてもらおう議員が仮にしているとしたら由々しき事態」と指摘するとともに、加藤議員が公人として説明責任を果たすよう求めました。

小田桐市議は、「加藤議員の釈明は①『スカートはいたらあめ玉もらえた』という言葉は、ご本人にとりてセクハラと思っていないことを「セクハラ」とし、『かわら版』に記載したこと。②やじの有無を充分に裏付けを取らず、『かわら版』に記載したこと。③『かわら版』をきっかけに新聞報道され、市議会でセクハラやじがあつたかのごとく受け取られてしまったこと。3点の意味があると確認しているか」「やじは本人が聞かない場合もある。一人ひとりにやじをしていないとお聞きしたい」と指摘。加藤議員は「その通り」とし、他の議員も「セクハラやじはしていない」と確認されました。



日本共産党市議会議員

# 小田桐たかし

